

# 「新型コロナウイルス感染症」影響調査アンケート集計結果

～平塚商工会議所会員事業所が受けた影響について～

平塚商工会議所 中小企業相談所

## 1.はじめに

新型コロナウイルス感染症が及ぼしている企業活動への影響、そして経済回復に向けた施策ニーズの実態把握をし、更なる対応策への要望活動等の意見集約を目的として、8つの項目についてアンケート調査を実施した。

調査期間は1月22日(金)～2月15日(月)である。

## 2.回答企業数

調査対象企業数は2,249社、うち回答企業数は758社、回収率は約33.7%となった。

※宿泊業の回答がなかったため、以降の表項目・グラフ軸において宿泊業の記載は行わないものとする。

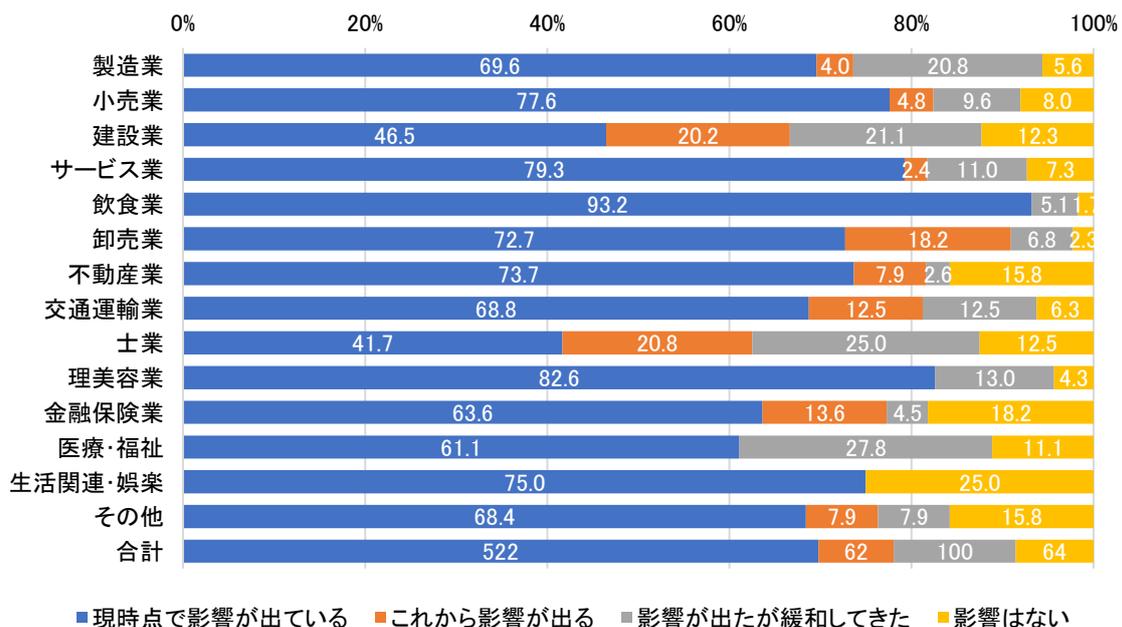
表 1.回答企業数

業種	回答件数	回答割合
製造業	128	16.9%
小売業	125	16.5%
建設業	117	15.4%
サービス業	83	10.9%
飲食業	60	7.9%
卸売業	44	5.8%
不動産業	38	5.0%
交通運輸業	32	4.2%
士業	25	3.3%
理美容業	23	3.0%
金融保険業	22	2.9%
医療・福祉業	19	2.5%
生活関連・娯楽	4	0.5%
宿泊業	0	0.0%
その他	38	5.0%
合計	758	

## 3.企業活動の影響

Q1では新型コロナウイルス感染症の発生がどの程度企業活動に影響が出ているか調査をした。

グラフ 1.企業活動の影響



全業種で「現時点で影響が出ている」の回答割合が非常に高いことが分かる。飲食業に加え、全ての業種を支援することのできる施策の展開が必要と思われる。

#### 4. 具体的な影響

Q2 では新型コロナウイルス感染症の発生が企業活動にどのような影響を与えたか調査をした。※複数回答可  
14 の選択肢の中から、■が1位、■が2位(同率含む)となった。

表 2. 具体的な影響

(単位:%)

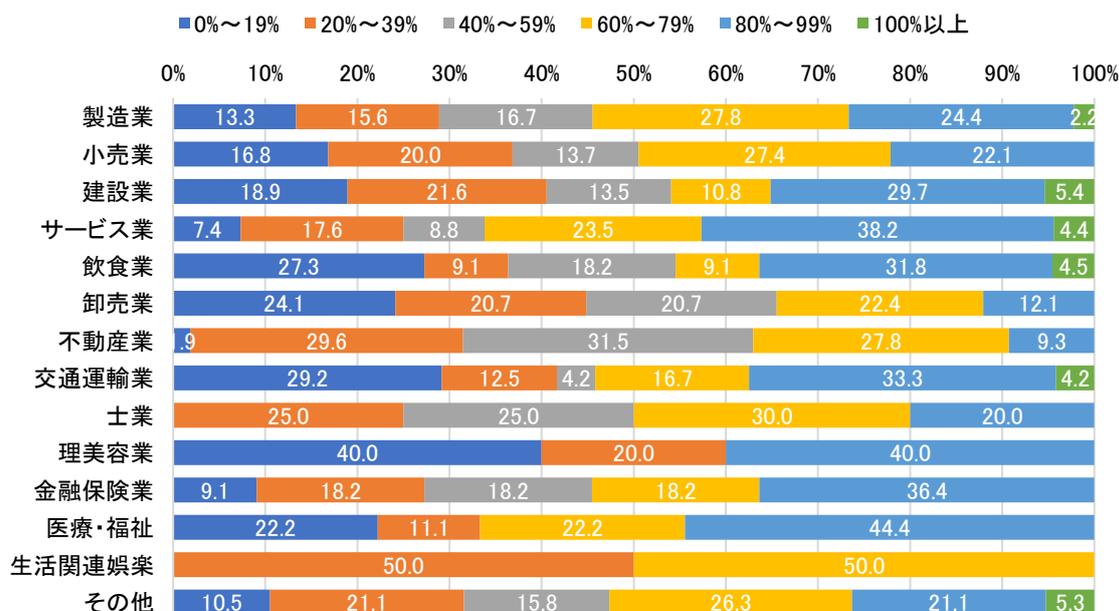
	製造業	小売業	建設業	サービス業	飲食業	卸売業	不動産業	交通運輸業	士業	理美容業	金融保険業	医療・福祉	生活関連・娯楽	その他
売上減少	43.0	31.1	47.2	30.1	25.8	38.0	38.3	50.0	29.0	34.5	15.4	27.0	18.2	25.0
資金繰り悪化	9.3	9.7	11.1	7.1	10.0	10.0	8.3	8.0	0.0	5.5	0.0	5.4	18.2	4.7
客数減少	7.9	22.3	13.9	19.9	24.4	12.0	18.3	10.0	16.1	34.5	12.8	16.2	27.3	15.6
営業日時間の短縮	6.5	5.2	2.8	10.2	23.0	6.0	8.3	10.0	9.7	14.5	5.1	8.1	18.2	4.7
イベント中止	8.4	10.7	5.6	14.3	4.3	8.0	6.7	2.0	3.2	5.5	20.5	10.8	9.1	21.9
国内仕入困難	0.9	1.6	1.4	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
海外サプライヤーからの供給困難	1.9	1.9	0.7	0.0	0.0	4.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
出張(移動)規制	12.6	3.2	2.8	7.1	1.0	7.0	3.3	6.0	19.4	0.0	17.9	8.1	0.0	7.8
出社規制による人員不足	0.9	1.6	0.0	1.5	0.5	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	3.1
流通障害	0.5	1.9	3.5	0.0	0.0	3.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
従業員不足	0.0	1.0	4.2	1.0	1.0	0.0	1.7	2.0	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
在庫過多	0.9	3.9	0.0	0.5	1.9	2.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0
感染予防対策コスト増	6.1	5.5	5.6	7.7	8.1	5.0	6.7	10.0	9.7	5.5	12.8	21.6	9.1	14.1
その他	0.9	0.3	1.4	0.5	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6

殆どの業種で売上減少および客数減少の影響が出ていることが分かる。資金繰りの悪化や感染予防対策コスト増を回答した企業の割合も高いが、これはコロナ禍でも事業を継続しようと奮闘していた企業とも捉えることができるのではないだろうか。飲食業に加え、今後は業種毎のニーズに沿った支援施策の展開が必要と思われる。

#### 5. 売上減少について

Q3 では Q2 で売上減少と回答した事業所において、2019 年以前の通常時を 100%としたとき、今年度の売上は何%になったかを調査した。

グラフ 2. 売上減少について

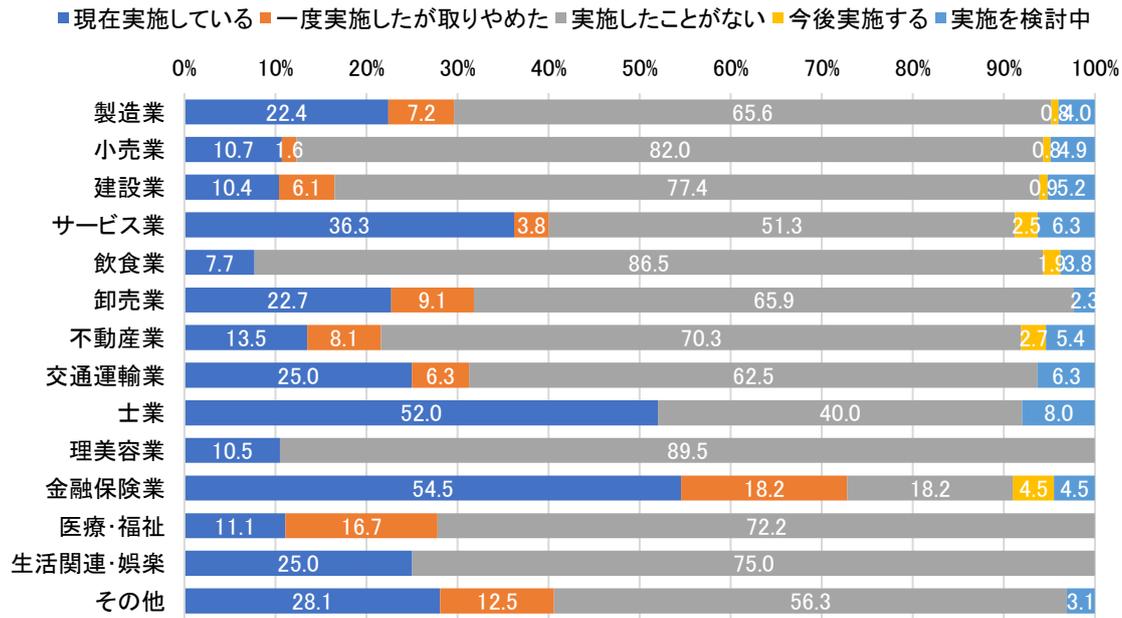


0%~19%の割合としては、対面による接客が伴う理美容業が最も高い結果となった。理美容業における Q2 の結果では「感染予防対策コスト増」の回答が少なかったことから、対策を整えることができず休業等の選択をせざるを得なかった企業が多いのではないかと考えられる。次点で飲食業である。緊急事態宣言による外出自粛や、休業・時短営業による直接的な売上減少と思われる。テイクアウトやデリバリー、オンライン販売など事業転換の促進ができるような支援施策が必要と考える。

## 6.在宅勤務・リモートワークについて

Q4では新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐために、在宅勤務・リモートワークを行っている企業の割合を調査した。

グラフ3.在宅勤務・リモートワークについて



調査対象が中小企業・小規模事業者ということもあり、実施したことがない割合が高い結果となった。今後、在宅勤務・リモートワークの普及を促進させるには、導入費用負担以外の課題を解決することのできる支援施策が求められるのではないかと考えられる。

## 7.事業所が利用した支援施策

Q5では新型コロナウイルス感染症拡大を受け、事業所はどのような支援施策を利用したかを調査した。※複数回答可  
17の選択肢の中から、■が1位、■が2位(同率含む)となった。

表3.事業所が利用した支援施策

(単位:%)

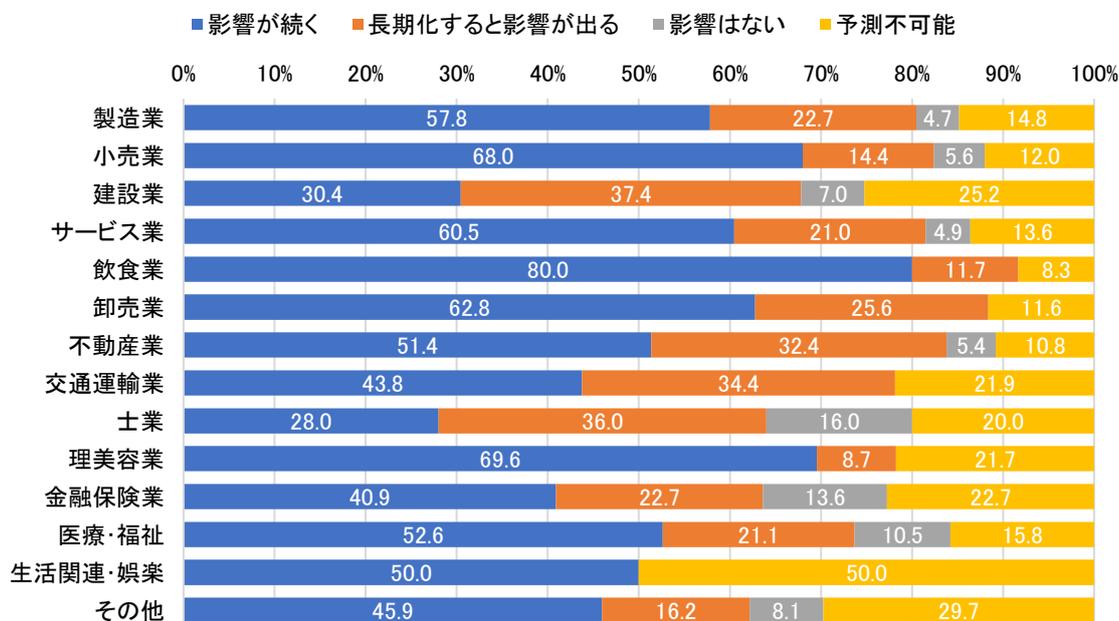
	製造業	小売業	建設業	サービス業	飲食業	卸売業	不動産業	交通運輸業	土業	理美容業	金融保険業	医療・福祉	生活関連・娯楽	その他
持続化給付金	26.6	51.0	39.2	20.1	18.8	28.9	24.5	16.9	33.3	30.6	0.0	9.7	28.6	21.4
家賃補助給付金	10.2	20.0	9.3	12.1	13.5	11.8	12.2	6.2	11.1	10.2	0.0	9.7	14.3	10.7
雇用調整助成金	20.5	13.0	6.4	10.0	5.9	7.9	4.1	15.4	14.8	4.1	0.0	6.5	14.3	10.7
新型コロナウイルス特別貸付	7.8	21.0	6.9	6.3	6.6	9.2	10.2	12.3	0.0	2.0	0.0	6.5	14.3	3.6
特別利子補給制度	9.8	18.0	12.3	7.9	4.9	9.2	12.2	12.3	7.4	4.1	0.0	6.5	14.3	8.9
セーフティネット貸付	2.5	6.0	3.4	2.1	1.4	6.6	4.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
新型コロナウイルス対策マル経融資	0.4	1.0	0.0	0.8	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
神奈川県感染症防止協力金	2.0	17.0	1.0	5.4	10.1	0.0	2.0	3.1	0.0	6.1	0.0	3.2	14.3	1.8
持続化補助金	1.2	2.0	1.0	3.3	3.5	2.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	12.9	0.0	3.6
神奈川県再起促進事業費補助金	0.0	3.0	1.0	2.9	2.8	1.3	2.0	1.5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	1.8
神奈川県感染症対策事業費補助金	2.0	6.0	2.5	3.3	3.5	2.6	2.0	1.5	3.7	4.1	0.0	19.4	0.0	7.1
平塚市事業所賃借料補助	2.9	6.0	2.5	5.4	5.9	5.3	2.0	1.5	0.0	8.2	0.0	6.5	0.0	0.0
平塚市新しい生活様式に取り組む中小企業等の応援金	5.3	11.9	9.3	7.9	5.2	7.9	16.3	12.3	25.9	10.2	20.0	6.5	0.0	14.3
ひらつかスクラフトボイ外事業への参加	2.9	17.5	1.0	5.9	11.5	5.3	4.1	3.1	0.0	18.4	20.0	3.2	0.0	3.6
平塚市3つの補助金	2.5	2.8	2.0	2.9	1.4	1.3	0.0	1.5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	7.1
納税・社会保険料の猶予制度	2.5	0.8	1.5	1.7	3.5	0.0	0.0	4.6	3.7	2.0	0.0	3.2	0.0	0.0
その他	0.8	2.0	1.0	1.7	0.7	0.0	2.0	3.1	0.0	0.0	20.0	6.5	0.0	1.8

金融保険業を除く全ての業種で持続化給付金が1位となっている。支給金額の規模や全業種が対象となるため、利用率が高いのは自明である。特例措置が講じられた雇用調整助成金、新型コロナ特別貸付の利用も多く、活用支援を継続する必要があると考えられる。「ひらつかスターライトポイント事業への参加」を見ると、対象となる小売業や飲食業の利用率は比較的高く、ニーズに合った支援施策となったのではないかと考えられる。キャッシュレス決済による感染防止策と経済活動の両立が図れる取り組みは、今後も需要が高いのではないかと考えられる。

## 8. 先行きの見通し

Q6では向こう3ヶ月から6ヶ月を目安に、新型コロナウイルス感染による影響予想について調査した。

グラフ4. 先行きの見通し



全業種において「影響が続く」「長期化すると影響が出る」の回答割合が高い結果となった。既に影響が出ている企業を支援することはもちろんのことだが、「長期化すると影響が出る」と回答した企業について、影響を未然に防ぐことのできる支援施策の実行が必要と思われる。

## 9. 行政・支援機関に期待する支援施策

Q7では今後事業所が期待する新型コロナウイルス感染症に関連する支援施策の要望を調査した。※複数回答可  
11の選択肢の中から、■が1位、■が2位(同率含む)となった。

表4. 行政・支援機関に期待する支援施策

(単位: %)

	製造業	小売業	建設業	サービス業	飲食業	卸売業	不動産業	交通運輸業	士業	理美容業	金融保険業	医療・福祉	生活関連・娯楽	その他
給付金助成金の拡充	34.1	28.9	29.4	25.0	27.4	26.8	26.8	31.9	32.5	32.4	20.6	31.6	28.6	26.6
金融(融資)支援	7.7	8.5	11.8	9.4	7.3	9.8	21.4	12.5	7.5	10.8	11.8	5.3	14.3	3.8
補助金制度の充実	16.3	15.8	13.3	15.6	15.6	9.8	12.5	18.1	17.5	18.9	8.8	21.1	14.3	19.0
事業転換への設備投資支援	2.4	1.1	1.9	4.2	6.1	4.9	3.6	2.8	2.5	0.0	2.9	2.6	14.3	5.1
感染症検査体制拡大	16.8	9.2	11.4	8.9	6.7	15.9	23.2	11.1	20.0	5.4	29.4	13.2	14.3	20.3
新しい生活様式確立への経費補助	1.9	5.6	5.2	8.9	6.1	4.9	1.8	5.6	5.0	16.2	2.9	15.8	0.0	8.9
補助金等の申請支援	3.8	8.1	4.7	7.8	8.4	6.1	3.6	4.2	2.5	5.4	0.0	5.3	0.0	5.1
販路拡大支援	1.9	4.6	2.4	5.2	4.5	4.9	0.0	1.4	0.0	2.7	5.9	2.6	14.3	3.8
消費の活性化対策事業	5.3	11.3	7.1	3.6	10.6	9.8	3.6	6.9	2.5	0.0	8.8	0.0	0.0	2.5
相談窓口の開設	1.0	2.1	2.4	2.1	2.2	1.2	0.0	0.0	5.0	2.7	2.9	2.6	0.0	2.5
雇用維持の支援	8.7	4.9	10.4	9.4	5.0	6.1	3.6	5.6	5.0	5.4	5.9	0.0	0.0	2.5

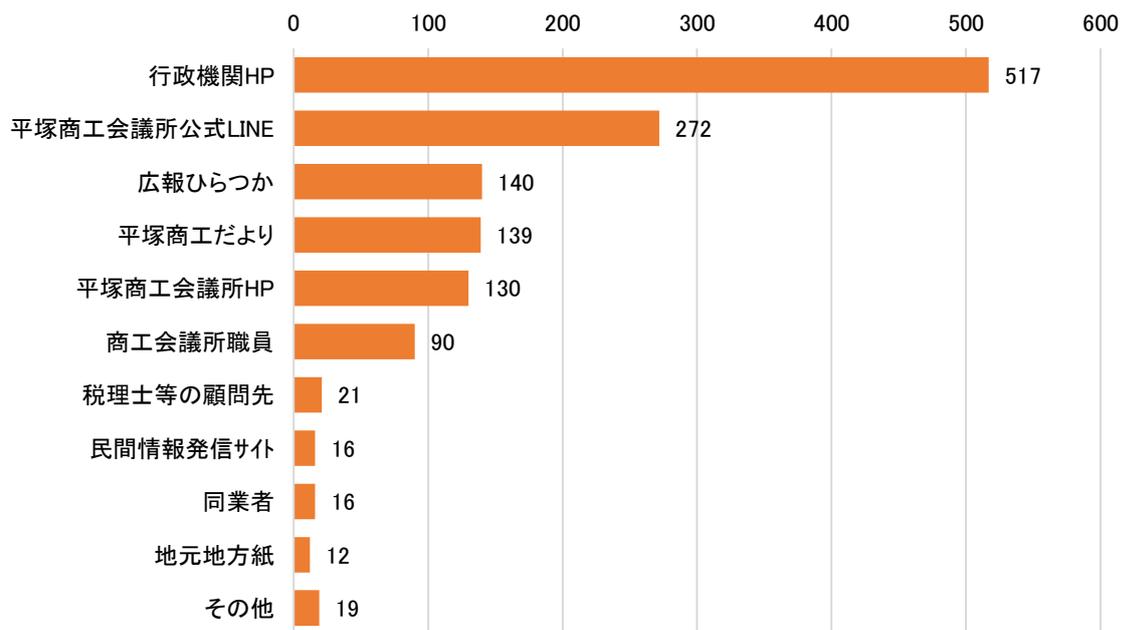
給付金や補助制度の充実など、資金面の支援に期待する回答が多い結果となった。感染症検査体制の拡大に期待する回答も多いが、現状行政がPCR検査体制を強化する姿勢はあまり見受けられていない。

民間診療所によるPCR検査体制が急増しているが、認知度や精度、費用の自己負担などが理由で大きな広がりには現在見受けられていない。事業継続と感染防止の両立が可能な支援施策に期待したい。

## 10.情報メディア

Q8 では事業所が支援施策等の情報をどのような媒体・方法で入手したかを調査した。※複数回答可

グラフ 5.情報メディア



行政機関 HP を直接調べ情報を入手している企業が最も多かった。次点で平塚商工会議所公式 LINE が 272 件となった。

現在 LINE の登録件数は 394 社(2021/3/4)である。登録者の約 70%が LINE を通じて情報収集に貢献できており、アンケートの返信率も高い結果となった。LINE による情報発信のニーズが高いことから、今後も登録件数を増やし、必要な情報を即座に案内することのできる体制を強化していきたいと考える。LINE を使っていない層には、平塚商工だよりや職員からの情報発信で補っていききたいと思う。

## 11.まとめ

平塚市内の事業所は、現在も影響が続いている、あるいは今後影響が出ることが予想される企業が多い状況にある。

業種問わず多くの企業が売上減少・客数減少により、資金繰り等に苦悩しており、給付金など直接的な資金支援を望んでいる声が多い。新型コロナウイルス感染症の影響は、業種問わず広く影響が広がっているため、飲食業に限らず支援対象が広い支援施策の展開が今後求められるのではないかと考えられる。

国の 2020 年度第 3 次補正予算 21 兆 3853 億円、中小・小規模事業者の資金繰り支援として 3 兆 2049 億円が予定されており、地方自治体が時短営業などに協力した事業者の支援に活用できる地方創生臨時交付金として、1 兆 5000 億円を積み増すこととされており、今後も県・市からの支援施策に市内会員事業者が有効に活用できるよう、情報の迅速な発信やサポートを的確に遂行できるように、平塚商工会議所中小企業相談所の体制も強化していきたいと考える。

■自由記入欄

1	卸売業の方の支援も。平等な給付を。
2	不安で仕方がない。国・県・市のトップの国民・県民・市民・に対する心が通う言葉が必要ではないか！あまりにも心がない！事務的・・・
3	国県市との連携が極めて重要と考えます。
4	様々な助成補助が国自治体で行われ、その文言が似ているところから大変わかりづらい。商工会さんでマトリクス化していただけると大変うれしい
5	飲食店への時短休業に対して一律6万円はおかしい。店毎に条件を考慮して助成額を決めるべき。
6	支援の名称・申請の仕方もわかりません。
7	民間航空機部品が壊滅状態。数年間は戻らない。他原油の掘削、半導体も人の動きが制限され売り上げ減少につながっている。
8	消費税の支払いが困難、なんとかならないか。
9	感染症防止の対策を行う予定、県や市の補助金制度の公募が締め切られているものが多く、今後も募集があることを望みます。
10	影響等の少ない企業等の内部留保金の活用を活性化できるような仕組みの構築を望みます。
11	当社は通販業界のため影響なし。行政や民間が連携してコロナから救う事ができたらよいと思う。
12	アンケートを見て補助助成の制度が沢山あることを知りました。知らせ方にまだ問題がありそうです。
13	飲食全体の自粛で昼の営業も影響が出ているのでなんとかしてほしい
14	携帯など分かりませんので文面をお願いします
15	長期化が予想されるので後手後手にならずアグレッシブで長期的な支援の拡大が大切。そういった要望をしてほしい。このままでは感染が収まるころには企業と雇用がなくなる。
16	会議所は問題意識を高く持ち行動の可視化を。
17	今年もコロナの影響が続くと予想しているのでビジネスは対面からオンラインに移行する予定
18	PCRができないため発熱があると休みを取り、生産活動に支障があるため即検査できるとよい。
19	感染症検査の簡素化・PCRの拡大希望
20	事業所の経営悪化による会員の退会、新規獲得への支障が懸念される
21	テレワークの補助金が昨年予算が終わり、受けられなかった。推進するため補助金の申請を希望。
22	労働者も企業も多業種経営のしやすい環境になるとよい。工業地域だと他業種には手が出しにくい。建蔽率も事業拡大のためなら緩和するなどあるとよい
23	業種別に多大な影響がある。経済はまわして医療機関補助・増員などを手厚くやってもらいたい。
24	いつもありがとうございます。助かってます。
25	感染症拡大防止協力金は売上等に応じて決めてほしい。平塚市内のスタポのような施策は良いと思う。そういった施策を年に数回行ってほしい。利用店にも恩恵があればより普及するのでは。
26	ネットの売上は伸びたが来店売り上げは減少。仕入れを控えたが生花等の在庫が増えごみとして捨てることもあり、利益が少なくなった。売上減少補助だけでなく、利益を考えて助成金が欲しかった。
27	飲食店の支援も助かるが他業種で一律支援の方が肩身が狭くなくてよい
28	withコロナと長期化されても商売のモチベーションが上がらないので短期に強力な対策希望
29	先のことを考えると家賃等の負担が心配。みんなが協力してできることをやれたらいいですね。
30	LINEには定期的に配信しないと意味がないと思います。給付金、補助金をこんな事で申請したとか、積極的に頑張っている会員の情報を流していくことは、これから特に求められると思います。

31	家主さんへの家賃補助を行い借り手が家賃の減額できるようにしてほしい
32	雇用調整助成金の継続を強く望みます。
33	トイレの使用回数がかかなり多くトイレットペーパー、消毒剤、水道代の経費増。行政支援希望
34	コロナウイルスによる平塚市内の経済への影響は、長期にわたる可能性がありますのでリアルタイムな情報発信をよろしくお願ひいたします。
35	コロナウイルス感染予防対策(アクリル板等)への補助金、売上減ではなく、利益減への給付金
36	上記Q&Aのように助成金など拡充して欲しいです。
37	消費税10%になった時の方が影響があった。(売上が落ちた)コロナ終息しても楽観できなと思う。
38	持続化給付金の再度の支援。
39	不動産業なので直接影響がないように見えますが、世の中全体の不景気が長引き、空部屋、空駐車場が埋まりません。国のコロナ対策が早急に進み、世の中が落ち着き戻ることを只々願っております。
40	個人商店の為、雇用調整助成金などなく法人と同じように雇用維持の為、手厚い助成を願ひします。個人商店にも補助金等の支援。
41	これまで誰も経験したことのない事態です。柔軟迅速に対応、該当業種の要望に沿った支援を期待
42	家族経営なので感染者が出た時の支援体制があるのか不安です。
43	平塚市内での情報不足。行政からは何の情報もないので不安です。
44	賃貸業を始めたところでのコロナにより支払いがあるが、空き店舗が入らない状況が続くと思います。オーナーへの空き店舗の補助などあればありがたい。
45	融資は返済しなければならないので補助金助成金の充実がありがたい。
46	家の場合、歳でもあるし今年か来年でやめるかも？考えている所。コロナの方はそう影響はない。
47	従業員の雇用が非常に危険な状態。これ以上続くと店舗閉店も行うしかない状態である。
48	コロナで行政も商工会議所も皆さん大変だと思います。本当にどうしたものかと苦しんでおります。だれが悪いわけでもなくどう生きていけばいいかと思う毎日です。努力するもお客様来なかったらどうにもなりません。生きるは大変です。商工会の皆様もお身体大切にいつもありがとうございます。
49	公共事業を地元の業者でできるようにしてほしい。
50	税金の支援施策の拡充。税金を免税する話が一つもない。
51	もっと簡単に融資ができるように改善してほしい。
52	先日よろず相談を受けとても参考になりました。続けていっていただければありがたいです。
53	平塚駅に人が来なくなっており、ららぽーと平塚の方が人が集まっているように思われる。コロナの影響だと思います。駅近くのコロナ対策を期待。
54	飲食業界だけでなく、経営事業者平等に給付金をください。
55	公的機関での検査費用は高額で特定の検査場所を設置して誰でも受けやすいよう要望します。
56	正直に言えばもう耐えられそうにありません。廃業も視野に入れ始めました。今の状況があと2〜3カ月続くようだと持たないと思います。国や行政には早急に協力金だけでなく昨年の春のような家賃支援などを行ってほしいです。
57	平塚商工会議所皆様のご協力ありがとうございます
58	情報提供はメールでわかりやすくしてほしい。LINEは一部の利用者だけで。場合によっては不要。
59	飲食業界だけでなく、経営事業者平等に給付金をください。
61	LINE友達追加しました。今後の情報収集に活用させていただきます